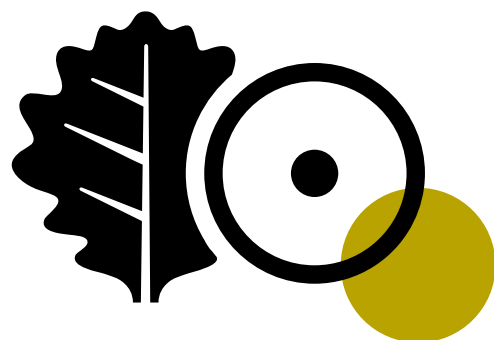




Original Photo : INOUE Rokuro



**PRINCE
TOMOHIITO
MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX**

東日本大震災復興支援

第8回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2020年度 第22回 全日本学生選手権クリテリウム大会

第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム

15th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 10:30開会式 14:50表彰式

2021年 3月7日(日)

主催 **日本学生自転車競技連盟**
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



ウェブサイト

大会特設 <http://princetomohito-memorial-wgp.com/>
外苑クリテ過去大会アーカイブ <http://gaiencriterium.tokyo/>
日本学生自転車競技連盟 <https://jicf.info/>

インターネットライブ動画

<https://youtu.be/gQJpDe4TmE0>



競技速報 Twitter

https://twitter.com/jicf_jimukyoku



明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前
外苑
CRITERIUM
CYCLE ROAD RACE

nichiniao

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

Innovation & Action

INOAC

DE ROSA

CYCLOCHANNEL
シクロチャンネル cycloch.net

CYCLES-YOKOO

Gibraltar
ジブラルタ生命

PEARL IZUMI

NALSIMA
www.nalsima.net

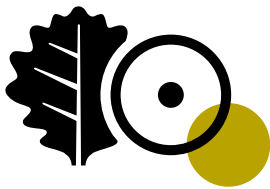
Kabuto

イノアックの森が広がる。
ココチいい世界が広がる。



一本の木がたくさんの枝葉を広げ、やがて森を形づくるように。
多くの個性ある素材や技術が、世界中で快適な生活を支えていく。
私たちは発泡技術のリーディングカンパニー、イノアックです。

Innovationで、明日をもっと快適に。



PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX

「寛仁親王記念ワールドグランプリ」の開催にあたって

大会顧問 小山田 齊

寛仁親王殿下の活動の中心、4本の柱は、

「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」でした。

殿下の「障害者福祉活動」のスタートは1970年代初め、障害者が自立をめざして本格的な運動を始めた時期でもあります。東京「身障友の会」活動に端を発した障害者の自立運動は「愛知県重度障害者の生活をよくする会」そして「仙台ありのまま舎」などにも広がり活発化しました。この、ユニークな福祉活動を行う「身障友の会」との出会いがきっかけで殿下の「身障友の会応援団」が誕生します。寛仁親王殿下は以後様々な障害者福祉活動にお取り組みになりますが、障害者スポーツの先駆けとなる「障害者スキーの普及」もそのひとつでした。殿下が制作なされた障害者スキードキュメント映画「JOY TOGETHER」は世界の注目を集め1978年「第1回国際赤十字映画祭グランプリ」をはじめ国内外の賞を受賞しています。

「スポーツ振興」活動としては1990年、名誉総裁をつとめられた「世界選手権自転車競技日本大会」以降「自転車競技振興」にも大きな指導力を発揮されてきました。

「寛仁親王殿下」プロフィール

寛仁親王（ともひとしんのう）

1946年神奈川県生まれ。三笠宮崇仁親王の第一男子。1968年学習院大学卒業後、オックスフォード大学へ留学。活動の中心は障害者福祉・スポーツ振興・青少年育成・国際親善の4本柱。スポーツマンとしても知られ、日本職業スキー教師協会総裁として障害者スキー指導では先駆者的存在。皇族らしからぬ飾らぬお人柄は庶民的な人気を得「ヒゲの殿下」の愛称で親しまれた。

1990年世界選手権自転車競技日本大会で名誉総裁、以降自転車競技選手強化システムの構築などに主導的な力を発揮。1991年、下部食道癌の切除手術を受けて以降も様々な活動を精力的にお続けになる。1995年、自ら総裁を務める、仙台ありのまま舎の常務理事で筋ジストロフィー患者・山田富也、一級障害者手帳を持つ作家澤地久枝と共著で「いのちの時間」を出版。

1991年以降、16回の手術という想像を絶する困難のなか信念とする活動を精力的に続け、2012年6月6日薨去。

著書に「皇族のひとりごと」「思いでの昭和天皇」「今バールを脱ぐジェントルマンの極意」など。

「寛仁親王殿下と自転車競技」

寛仁親王殿下は「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」の4本の柱を活動の中心据えてこられました。「ヒゲの殿下」の皇族らしからぬ、庶民的で飾らぬ言動は皇室をかつて無い程に「開かれた存在」にしました。

様々なスポーツと親しむなか、特にスキーに関しては日本職業スキー教師協会総裁をつとめ、障害者のスキー指導に於いては先駆者的な存在で知られます。

自転車競技に関しては「1990世界選手権自転車競技大会」名誉総裁をつとめて以来「選手強化／底辺拡大」に関する事業等で大きな指導力を発揮なさいました。なかでも自らの名を下賜なされた「寛仁親王牌世界選手権記念トーナメント」（1992年～）では「世界のスポーツ、ケイリン！」をキャッチフレーズに競輪の国際化に尽力、2000年シドニーからのオリンピック競技「KEIRIN」誕生にお力添えをなさいました。



* 大会名「寛仁親王記念ワールドグランプリ」は、三笠宮彬子女王殿下の御承諾を戴いた名称です

HAKUSOSHA PROJECT 2022

柏想舎

寛仁親王殿下の記憶を記録に。「柏想舎2022プロジェクト」



『柏想舎2022プロジェクト』は以下の事業を予定しています。

1 寛仁親王殿下活動「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」

関連の映像及び活字資料の収集・広報・保存

2 寛仁親王殿下と自転車競技に関する映像及び活字資料の収集・広報・保存

3 『2022寛仁親王記念ワールドグランプリ：国際自転車競技大会』の開催

4 寛仁親王殿下ドキュメンタリー映像5作品の制作・広報・保存

- ①映像とことばで紡ぐ ヒゲの殿下1946～2012
- ②三笠宮杯ツール・ド・とうほく1952～2022
- ③寛仁親王殿下と自立ホーム 仙台ありのまま舎
- ④雪は友だち～トモさんの身障者スキー教室～
- ⑤トルコ・アナトリア考古学研究所1985～2022

5 『ヒゲの殿下ミュージアム』の開設

寛仁親王殿下関連資料を展示する常設・モバイル・移動ミュージアム開設

6 自転車で街おこし／柏想舎コミュニティづくり

*柏想舎は寛仁親王殿下の映像制作に関わったスタッフが殿下お印「柏」の使用を願い出、彬子女王殿下のお許しをいただいた事業体名です。

お問い合わせ： 柏想舎代表 小山田 斉 090-3249-3493

第15回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長

村 岡 功

President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA



本年も第15回 明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことを喜ばしく存じます。

2020年初頭には、世界中で新型コロナウイルス・パンデミックが始まり、日本国内の自転車競技大会も同年秋まで延期・中止を余儀なくされてきました。例年、本大会は全日本ロードレースカップシリーズの最終戦として行われてきましたが、2020年度には大会再開が9月以降となり、実施されたシリーズ戦は僅かでした。このため、本年は全日本学生ロードレースカップシリーズの総合表彰を執り行わないこととする一方、5月に予定されていた全日本学生選手権クリテリウム大会が延期となっていることから、今大会は第22回全日本学生選手権クリテリウム大会を兼ねて実施することとなりました。

新型コロナウイルスの感染状況は一進一退であり、加盟校チームにおいても大会への参加可能性は様々に異なる状況下にあると思います。2020年度のインカレも、太平洋戦争後の中止・公開競技再開の時期以来の、選手権大会ではない形式の開催を余儀なくされました。明治神宮外苑大学クリテリウム大会に関しても、出場したいにもかかわらず、大学の方針で出場できない学校、あるいは所在地都道府県の方針により、県をまたぐ移動や東京圏への移動が制限されている学校もあるかもしれません。すべての加盟校が不自由なく大会に参加できる状況が一刻も早く回復されることを願っています。他方、できる範囲で大会を地道に開催し、参加できるチームだけにでもレース機会を提供していく、ということも本競技連盟の使命と考えられます。

今年は、東日本大震災から10周年の節目をむかえます。我々はあの時も未曾有の厳しさに遭遇し、競技活動が続ける意味を見失うような状況を経験しました。それゆえ今改めて、トレーニングを地道に積み、大会に参加して自らの実力を確かめつつ、志を同じくする友人達との交流を図る、という今までの「普通」の日常の尊さを改めて噛みしめております。

本年に招待予定であったオーストラリア・メルボルン大学チームの招聘は見送り、男子クラス3やマスターズのレースも行わないなどと致しておりますが、昨今の状況への対応により参加機会を失うことになった諸君には、次回以降への機会に向けた引き続きの研鑽を期待しております。

第15回目の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、東京都、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同いただき多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様方に対し、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

時 程 表 / TIME TABLE

3月6日(土) 14:00-17:00	第11回 大学自転車競技フォーラム東京 - 2021年に向けて(その8) - 「新しい自転車競技生活様式: コロナ・パンデミックとサイクリングe-レース」 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター (センター棟1階102研修室)	6 Mar (Sat) The 11th University Cycling Forum Tokyo -"Towards 2021 PART 8"- at National Olympic Memorial Youth Center, Center Building, First floor Seminar Room 102
3月7日(日) 6:30 8:00 9:00 9:30-10:00 10:30 10:50 11:20 11:35 12:35 13:20 14:00 14:50 17:00	会場設営開始 競技役員・立哨役員集合打合わせ 交通規制開始 参加選手受付・ゼッケン配布 開会式 オープン&ウォームアップ・ライド 1.5km × 5 laps = 7.5km タイムトライアル+"e-T.T." (小・中学生、パラサイクリング) 1km × 1 lap = 1km (銀杏並木Uターンなし) 男子大学生 予選 A組 男子大学生 予選 B組 男子大学生 予選 C組 1.5km × 5 laps = 7.5km 表彰式(午前の部) 立哨役員昼食(コース閉鎖) 女子(学連登録選手+JCF登録競技者) 1.5km × 10 laps = 15km 男子大学生 決勝 1.5km × 20 laps = 30km 表彰式・閉会式(午後の部) 規制解除(予定:早まる場合があります)	7 Mar (Sun) Course installation Commissaires & Marshalls meeting Start of Public traffic control Body Number distribution Opening Ceremony Open & Warm-up Ride Time Trial + e-T.T.(Kids, Para-cycling) Students Men Qual.-A Students Men Qual.-B Students Men Qual.-C Awards Ceremony Lunch Break / circuit close Women (JICF + JCF) Students Men Final Awards & Closing Ceremony End of Public traffic control

式 次 第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式 開会宣言 主催者挨拶 選手宣誓	10時30分より スタート・フィニッシュ地点にて (役員・選手整列はいたしません。場内アナウンスをお聞きください。) 利 光 宏 太 日本学生自転車競技連盟学生委員長 村 岡 功 日本学生自転車競技連盟会長 平安山 良 希 前年度大学対抗国内最上位校/日本体育大学代表
表 彰 式(午前の部) 表 彰	12時35分より スタート・フィニッシュ地点にて (表彰式には対象者とその関係者のみお集まりください。) 小・中学生タイムトライアル
表 彰 式・閉 会 式 表 彰 歓送のことば 閉会宣言	14時50分より スタート・フィニッシュ地点にて (表彰式には3位までの対象者とその関係者のみお集まりください。) 以下は第22回学生選手権クリテリウム大会と第15回明治神宮外苑大学クリテリウムの表彰を兼ねます。 女子クリテリウム 男子大学生クリテリウム 井 関 康 正 日本学生自転車競技連盟副会長 松 倉 信 裕 日本学生自転車競技連盟理事長

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表

大会会長	村岡 功	日本学生自転車競技連盟会長
大会副会長	井関 康正	日本学生自転車競技連盟副会長

大会実行委員会

レース・ディレクター	松倉 信裕	日本学生自転車競技連盟理事長	国際自転車競技連合国際コミッセール
設営・立哨統括	森川 和之	日本学生自転車競技連盟理事	
レセプション統括	古賀 岳文	日本学生自転車競技連盟常務理事	
感染防止対策統括	武田 彰	日本学生自転車競技連盟常務理事	
	中川 敏彦	日本学生自転車競技連盟常務理事	
アドバイザー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事	
WEB配信統括	井上 武夫		
映像記録統括	十時 隆櫻		
スタッフ	岸本 直樹	古田 雅拓	
運営スタッフ (本部)	利光 宏太	芳賀 慶太	栗原 拓海
	新井 愛菜		
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員		

競技運営

チーフ・コミッセール	荒井 純一	日本学生自転車競技連盟常務理事	
フィニッシュ・ジャッジ	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟常務理事	
モト・コミッセール	大島 環	池内 直人	西川 一郎
	西沢 倭義	村田 聡	
セクレタリー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事	
通告・音響・解説	芦田 千里 (MC)	高島 陽介 (PA)	寺部 和貴 (PA)
	栗村 修		
アシスタント・コミッセール		日本学生自転車競技連盟審判部会	
		東京都自転車競技連盟 ほか	

中川 敏彦	武田 彰	森川 和之
古賀 岳文	古川 利勝	白石 規哲
井上 武夫	玉木 伸雄	藤井 寿
岸本 直樹	十時 隆櫻	大西 浩一郎
深田 皓	蛭川 滉太	古田 雅拓
田中 郁男	飯田 義広	猪狩 英則
上田 直範	宇都宮 あゆみ	江見 之広
遠藤 隆史	大庭 昌彦	岡崎 亜里沙
岡和田 真治	川澄 玲子	川村 隆
小坂橋 彩子	小島 健裕	小島 裕樹
小林 雄仁	齋藤 晃一郎	佐々木 武史
白澤 克哉	鈴木 克典	高橋 直子
高橋 博	千明 勝巳	津島 智泰
中桐 確	長坂 堅太郎	西尾 優
服部 伸一朗	花田 恭子	藤井 由紀子
宮内 忍	宮川 悦彦	森川 潤
山浦 一郎	平 武	(順不同)

救 護

大会公式ドクター	金子 稔
看護師	黒澤 怜

アンチ・ドーピング検査

JADA D.C.O.

小川 豊和

井口 新

黒木 大輔

佐藤 敬樹

佐藤 洋子

板倉 智子

NF Rep

坂本 陽一

本田 昭二

(JCF ドーピング検査連盟代表)

コース・マーシャル (立哨役員)

日本学生自転車競技連盟審判部会

日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・学生

小田 恭介
高田 楓雅
斎藤 聖奈
岩間 仁志
神保 大地
内田 陸斗
保田 浩輔
大橋 真慧
平石 海哉
三神 遼矢
三浦 生誠
林 佳宗依
中村 圭吾
川上 隆義
三井 大勢
平川 陵将
中原 航大
吉岡 優太
川尻 泰生
戸田 旺希
鈴木 広直
諸隈 健太郎
關根 論容
荒川 達郎
松岡 優馬
高橋 慧
前原 壮一郎

池田 悠里
高野 皓嗣
山口 颯斗
小林 大悟
多賀谷 瞭
青木 瑞樹
宇野 旭
市田 龍生都
角 宗哉
大橋 佑太
甲斐 隼人
北林 大地
二ノ宮 隆暉
滝沢 慧
鶴 淳志
海野 有輝
宮川 大和
吉房 暖人
前島 稔樹
佐藤 宇志
阿部 耀介
川村 峻輝
安彦 統賀
橋谷 成海
米内 祐都
加藤 凱也
西尾 憲人

河本 奏
安江 永遠
中島 勇斗
吉田 智也
杉岡 巧真
梶原 海斗
福田 健太
内田 崇志
邊見 竜馬
田崎 隼翔
手塚 智仁
金子 颯馬
金澤 陸
和田 啓吾
小西 涼太
下川 原誠吾
野中 龍之介
上野 矢竜
氏原 真之介
鷺巢 怜
服部 祐介
西澤 匠磨
満田 光紀
山本 和瑛
田中 肇
具志堅 大士

会場設営・警備

株式会社シミズオクト

協力

東京都自転車競技連盟
株式会社なるしまフレンド
Kデザイン・カンパニー
シクロチャンネル

後援

明治神宮外苑 新宿区
公益財団法人日本自転車競技連盟
公益財団法人日本サイクリング協会

(順不同)

協賛

井上ゴム工業株式会社
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社日直商会
株式会社パールイズミ
ジブラルタ生命保険株式会社
柏想舎
株式会社オージーケーカブト
有限会社横尾双輪館

(順不同)



AIR SPEED

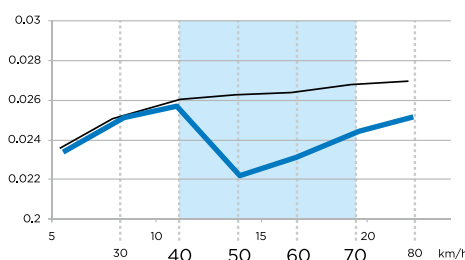
ロードバイクの有効速度に特化して開発した
空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」

エアスピードシリーズ

2020年にデビューした空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」を採用したオーダーウェアのハイエンドモデル。乗車姿勢を忠実に再現した超立体設計で動きやすさもアップ。トップ選手が使用する、レース志向のサイクリストに人気のウェアです。エアスピードシリーズは、半袖ジャージ、ビブパンツ、半袖ロードスーツ、長袖ワンピースをご用意しています。



エアスピード半袖ジャージ エアスピードビブパンツ



風洞実験や PIV 測定を繰り返し、作られた素材は、レースでの速度域にあたる 40km/h から空気抵抗の軽減効果が加速し、50km/h 付近で空気抵抗の軽減が最大化する（青線がスピードセンサー® II）

トップアスリートに選ばれるクオリティ パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。



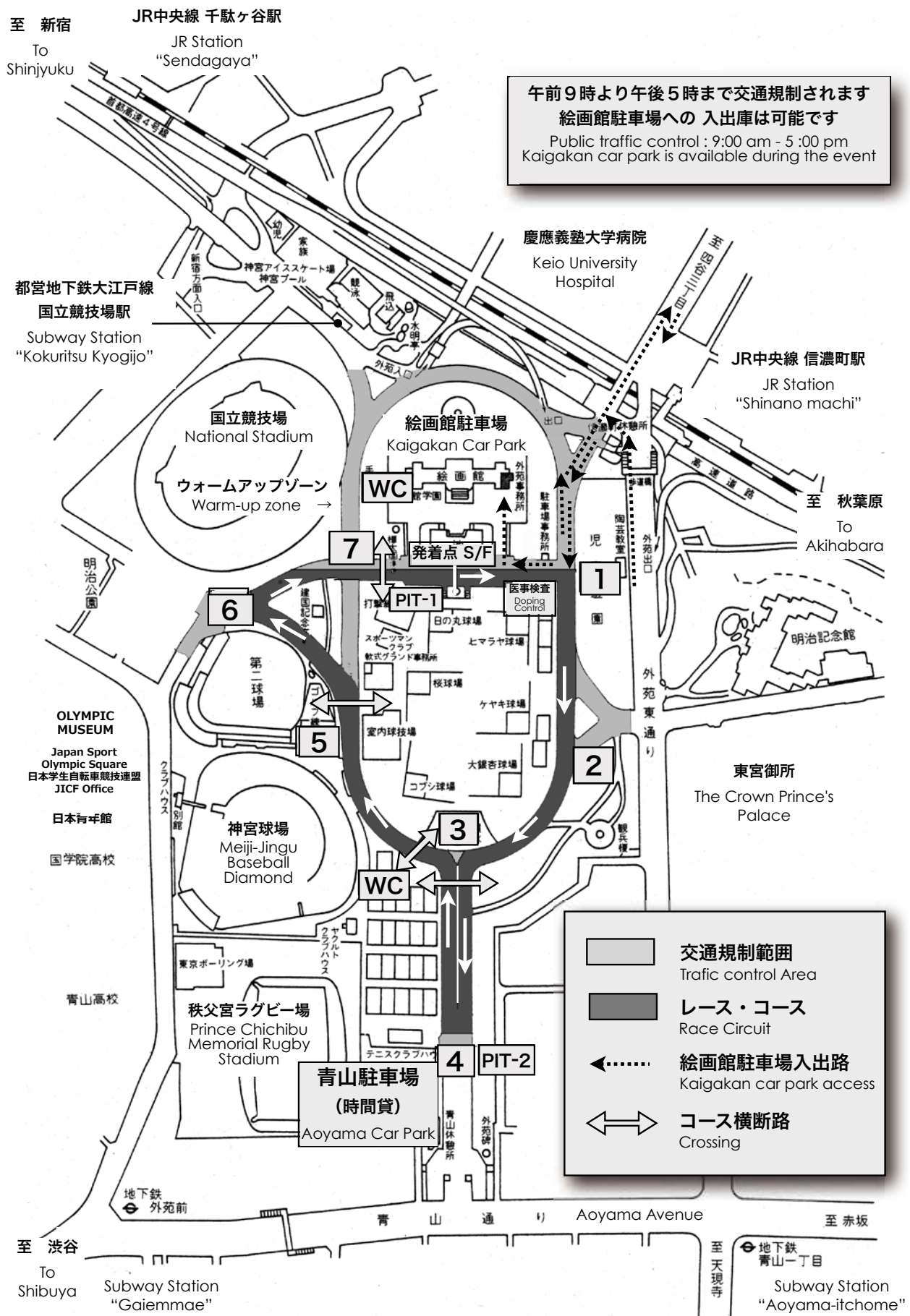
株式会社パールイズミ

〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
tel:03-3633-7556 fax:03-3633-5464

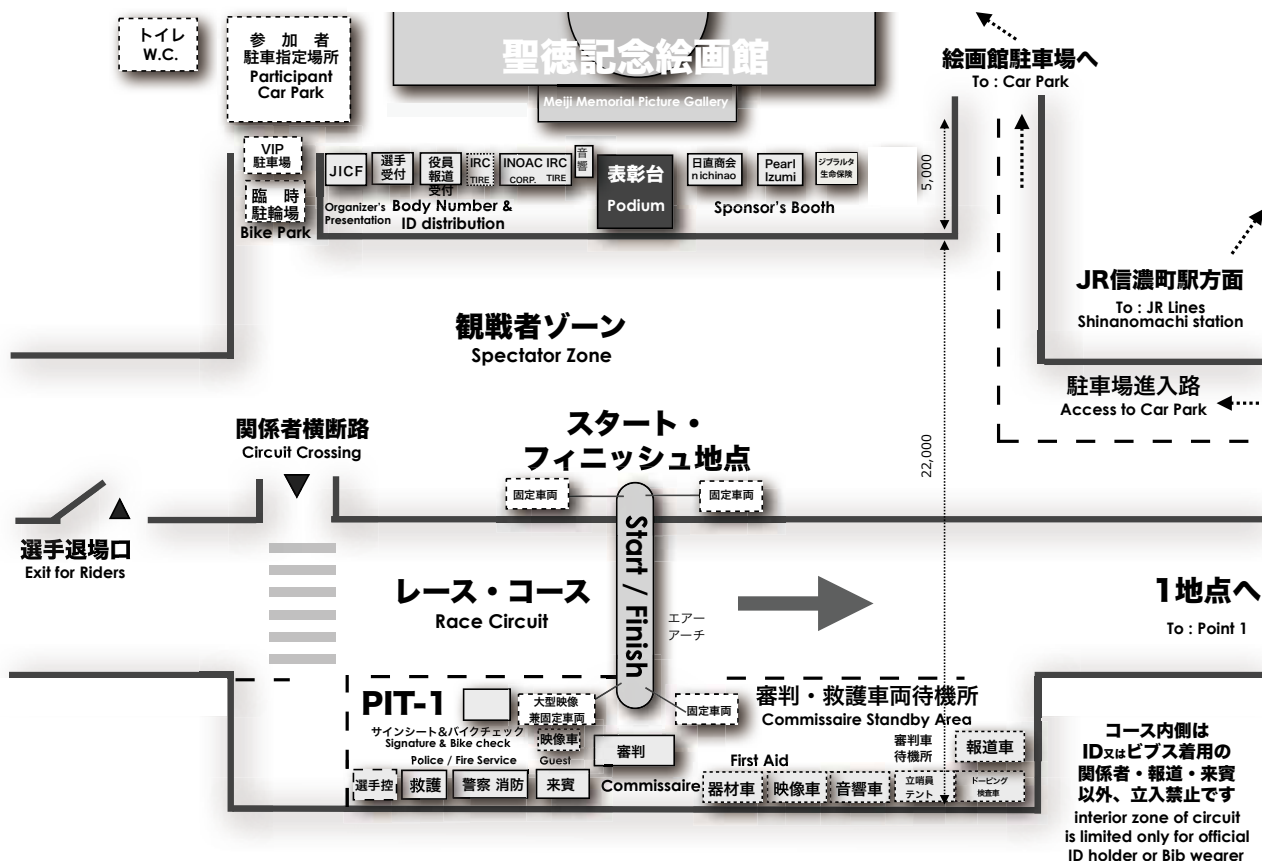


オーダーサービスのページはこちら
www.pearlizumi.co.jp

コース・規制範囲図 / CIRCUIT PLAN



スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



来場者の皆様へ

- ◎レースは、コース外側からご観戦ください。
- ◎コース内側は関係者以外立ち入り禁止とさせていただきます。
- ◎コース内側の運動施設をご利用の方は、係員にお申し付けください。
コース横断のご案内をいたします。
- ◎なにかとご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、
ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Dear Spectators,

- ◎ Please watch from outside the fenced area, and stay within the Spectator Zone.
- ◎ Please do not enter the Race Circuit at all times.
- ◎ Please make sure to contact your nearest staff when crossing Circuit Crossing.
- ◎ We apologize in advance for any inconvenience, and thank you for your kind understanding and cooperation.

大会本部：Race Office at S/F

聖徳記念絵画館正面

スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 Hours 08:00-16:00

電話 Tel. 090-2207-2369

最寄りの病院：Nearest Hospital

慶應義塾大学病院

KEIO University Hospital

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35 番地

Tel. 03-3353-1211 (代表)

テクニカル・ガイド

v20210227

大会日程	2021年3月7日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)		
会場	明治神宮外苑周回コース 1周 1.5 km (東京都新宿区・港区)		
大会主旨	本大会は、第22回全日本学生選手権クリテリウム大会として個人優勝者を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをも目指す。		
主催・主管	日本学生自転車競技連盟		
後援	明治神宮外苑 公益財団法人日本サイクリング協会	新宿区	公益財団法人日本自転車競技連盟 (順不同)
会場警備	株式会社シミズオクト		
協力	東京都自転車競技連盟 シクロチャンネル	株式会社なるしまフレンド	K デザイン・カンパニー
協賛	井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ 有限会社横尾双輪館	株式会社イノアックコーポレーション ジブラルタ生命保険株式会社 柏想舎	株式会社日直商会 株式会社オージーケーカブト (順不同)
競技規則	国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。		
競技種目および参加資格	(全カテゴリ共通事項)		

- ・別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。
- ・当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
- ・選手・立哨員・チームスタッフ等全ての会場入場者は、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

(1.2.4. 参加資格共通事項：本年度(公財)日本自転車競技連盟登録競技者)

(1.2. 参加資格共通事項：日本学生自転車競技連盟登録選手のみが学生選手権表彰対象となる。参加資格は参加申込時点のクラス区分による。)

(1.2. は UCI 規則による、3. 5. は自転車の制限は特にありません)

1. 男子大学生クリテリウム 予選5周7.5km 決勝20周30km
日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。チームあたりの人数上限は設けない。本連盟が参加を認めた最大8名までのオープン参加選手が出走できる。
2. 女子クリテリウム 10周15km
本年度日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。そのうち、本連盟登録選手のみが全日本学生選手権クリテリウム大会の表彰対象となる。
3. 小・中学生タイムトライアル 1周1km (銀杏並木Uターンなし)
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。
4. パラサイクリング・タイムトライアル 1周1km (銀杏並木Uターンなし)
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者(男女)
5. オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7.5km
ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。および上記に参加するすべての者。
各カテゴリとも上限概ね70名とする。(オープン&ウォームアップ・ライドは概ね100名迄)
(2021年3月大会はマスターズの募集は行いません)

- ・日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数(東京および隣接県の学校)	供出立哨役員数(左記以外の学校)
1	0	0
2	1	1
3	2	1
4	3	2
5	4	2
6	4	2
7以上	選手1.5名につき1名(少数点以下切り上げ・最低数)	選手3名につき1名(同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約100カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者

とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。
尚、供出する立哨役員・競技役員については、必ず申込をした際の人数を供出すること。立哨役員が不足するとレースそのものが開催できなくなるため、選手が欠場して必要な供出役員人数が減少した場合でも最初の申込において供出する人数の変更はしない。また、立哨役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わりの者を供出すること（代わりの供出役員の体調・体温についても大会開催 14 日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とする）。代わりの供出役員を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1 名の不足につき 10,000 円のペナルティを科す。

- ・大会本部用テントの供出数
出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各 1 張とする。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎する。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は 1 万円のペナルティを科す。
- 参加申込
 - ・参加を希望する選手は、学連ホームページ掲載の所定のエントリー用紙にて jicf.rcs.entry@gmail.com 宛申込の上、参加費を 2 月 9 日（火）までに支払を済ませること。
 - 振り込み先は 長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟
 - 支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペナルティを課す。
 - ・参加料は、本連盟登記大学生 6,000 円、小・中学生 500 円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は 300 円）、女子オープン 8,000 円オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は 3,000 円とする。パラサイクリング・タイムトライアルは 8,000 円とする。
 - ・参加料には、駐車料金は含まない。
 - ・今年度はプログラムへの選手顔写真掲載は行いません。
 - ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。
 - ・別途 1 チーム当たり 15,000 円を支払い、プログラム広告を出すことができる。プログラム広告申込チームは、リモート応援団の申込をすることができる。

感染対策チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、感染対策に関するチーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が本連盟感染防止ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底するなどして、感染拡大防止に努めなければならない。

事前チーム代表者会議

2021 年 3 月 4 日（木）20 時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。

チーム監督・感染対策チーム責任者は出席のこと。

会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に連絡する。

大会本部

聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話 090-2207-2369

選手受付

大会本部にて、9:30-10:00 の間にライセンスを提示してゼッケンを受取ること。（小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドはライセンス不要）

事故措置

1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。
2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。
3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

会場入場

1. 本大会の観戦はインターネット配信を通じてご覧下さい。現地への来場はできるかぎりお控え下さい。
2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手 1 名につきスタッフ 1 名を上限として会場への入場を許可します。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大 2 名までとします。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれ、立哨員は含まれません。また、アテンダントスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入下さい。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可致しません。
アテンダントスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催 14 日前からの体調・体温の記録を各自記録しておき、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のアテンダントスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催 2 日前の 20 時までに当連盟事務局あてに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めません。なお、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催 14 日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とします。

メディア

メディア関係者が来場される場合、当連盟 HP より取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催 2 日前の 20 時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催 14 日前からの体調・体温についての記録を記入して保存頂き、必要に応じて提出して頂く場合があります。状況により来場をお断りする場合もありますのでご理解ください。

特別規則

第 1 条（個人順位）

男子予選はポイントレース方式とし、毎週回上位より 5、3、1 点を付与する。最終回は倍得点とする。男子決勝出走人数は 48 名とし、予選各組の勝ち上がり人数はそれにより決定する。男子決勝、女子決勝は最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

第 2 条（本年は削除）

第3条 (周回獲得、遅れ)

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合にはコミッセルの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第4条 (中間スプリント賞)

男子決勝の5周回目、10周回目、15周回目終了時に、女子決勝の3周回目、6周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。

第5条 (事故)

認められる事故の場合、男子決勝は最後の10周、女子は4周、男子予選は2周を除き、1週のニュートラリゼーションが認められる。予選においてニュートラリゼーション適用直後の周回においては中間スプリント得点は与えられない。器材修理は、指定されたピット (S/F 地点および銀杏通り U ターン部) においてのみ認められる。

第6条 (飲食料補給)

飲食料の補給は認めない。

第7条 (自転車)

公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

第8条 (無線装置)

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第9条 (ギア比)

ジュニア選手のギア比の制限は3月末日の年齢により適用する。タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比はJCF規則による。

第10条 (賞典)

オープン&ウォームアップ・ライド 参加者全員に参加賞 (表彰式はありません)

小中学生タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞 (全員表彰台へ)

以下のカテゴリは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

男子学生選手権 (本連盟登録選手対象) 優勝者：チャンピオンジャージ、賞状、賞品

2-3 位：賞状、賞品

4-8 位：賞状

男子オープン

1 位：賞状、賞品

女子学生選手権 (本連盟登録選手対象) 優勝者：チャンピオンジャージ、賞状、賞品

2-3 位：賞状、賞品

4-8 位：賞状

女子オープン

1 位：賞状、賞品

パラサイクリング

各カテゴリ 1-3 位：賞状、賞品

第11条 (その他)

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティーを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp (問い合わせ) jicf.rcs.entry@gmail.com (エントリー)

ホームページ：https://jicf.info/

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

電話・FAX 03-6804-2329 (電話は原則として毎週水曜19時-21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。)

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守することと誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004、JCF 規則第5条 2. (4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第5条 2. (9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI 規則 1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI 規則 1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI 規則 1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI 規則 1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI 規則 1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI 規則 1.2.082)

+40% Side cut resistance

-4% Drag [40km/h]

-4% Rolling resistance

+7% Grip

205g Weight

Flagship of Clincher Tire

**ASPITE
PRO**

19001H / W0700×24C / 205g
190122 / W0700×26C / 245g

**ASPITE
PRO RBCC (IBWET)**

19001J / W0700×24C / 205g
190125 / W0700×26C / 245g

極微細なカット傷までも考慮して開発されたトレッドゴム。タイヤ構造全体をカバーするクロス織りメッシュ。革新的な技術、新素材の投入、飽くなきトライ&エラーを繰り返すことで実現したIRCのレーシングタイヤは、これらの組み合わせによってパンクトラブルのリスクを可能な限り低減した。タフネスとスムーズな走りを両立した[ASPITE PRO / アスピーテ プロ]は、ライダーたちの「軽量タイヤはパンクしやすい」という常識を覆す。

RIDE × COMFORT

ircbike.jp

本社／愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13番4号 TEL:0120-041718
若柳事業所／宮城県栗原市若柳字川北東若柳123番地 TEL:0228-32-2201

出走者一覧 / START LIST

オープン&ウォームアップ・ライド (レースではありません)
OPEN & WARM UP RIDE

10:50 スタート
1.5km×5周=7.5km

ゼッケン	氏 名	ゼッケン	氏 名	ゼッケン	氏 名
151	内 山 恵 介	152	近 藤 浩 基	153	井 倉 陽 子
154	松 倉 信 裕	155		156	

小中学生タイムトライアル
KIDS TIME TRIAL

11:20 スタート
1km×1周=1km

出走順	ゼッケン	氏 名	Name	学 年	スタート時刻	フィニッシュ	記 録(タイム)
1	141	山 口 虎 太 郎	YAMAGUCHI, Kotaro	小 4	11:20:00	: : "	分 秒
2	142	毛 利 瑞 紀	MOURI, Mizuki	中 1	11:20:30	: : "	分 秒
3	143	稲 延 す ず ら	INANOBE, Suzura	中 1	11:21:00	: : "	分 秒
4	144	内 山 雷 蔵	UCHIYAMA, Raizo	中 2	11:21:30	: : "	分 秒
5	145	水 戸 雅 広	MITO, Masahiro	中 3	11:22:00	: : "	分 秒
6	146				11:22:30	: : "	分 秒
7	147				11:23:00	: : "	分 秒
8	148				11:23:30	: : "	分 秒

※ 146 ~ 148 は緊急参加者対応用です。

★★レース観戦ミニ知識★★

「クリテリウム」とは ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「CRITERIUM」というラテン語は、「基準」を意味するギリシャ語 "criterion" から来ていて、競走馬の「選抜競走」といった意味でも使われているようです。自転車競技の世界では、「都市型ショートサーキット・ロードレース」を指す言葉として定着しています。

オリンピックや世界選手権で行われる本格的な自転車ロードレースが、原則として1周12km以上で起伏を伴う周回コースで実施されるのに対して、「クリテリウム」は1周800mから10kmまでの都市部周回路を用いて行われます。この形態であれば、東京のような大都市中心部でも比較的小さな負担（とはいえ実際は結構大きな負担ですが）でスポーツ・サイクリングの競技大会を実施することができます。ヨーロッパで根強い人気と伝統があるばかりでなく、近年は豪州やアジアなど世界的にも盛んに行われてきています。周回数の多寡の設定により、初心者から上級者まで幅広いカテゴリーの人々を受け入れる大会を実施することが可能であること、1周に要する時間が短いので観客が何度も選手を見ることができること、など都市生活者にとってなじみやすいサイクルレースの形態であると云えます。

本大会は「ロードレース方式」で行われます。マラソンと同じように、「用意、ドン」で一斉にスタートし、最終周回にフィニッシュラインを最初に横切った順に順位を確定する方式です。弱い選手を早めに振り落とすために前半からスピードを上げたり、ライバルの体力を消耗させるためにチームの作戦に沿ってアタックを仕掛けるなどの展開が行われます。また、途中の周回で賞品が授与される中間スプリントが設けられることがあり、レース中盤での盛り上がりも見どころのひとつとなります。

男子大学生クリテリウム 予選 A組 (決勝へ16名上がり)
CRITERIUM QUAL.-A / UNIVERSITY STUDENT-MEN11:35 スタート
1.5km×5周=7.5km

					1st						参考タイム ' "		
					2nd								
					3rd								
					4th								
ゼッケン No.	氏 名	Name	Name of Team	学年	1 4	2 3	3 2	4 1	5 G	Total Point	Fin	Rank	
1	中村 龍吉	NAKAMURA, Tatsuyoshi	中央大学	2									
4	宇佐美 颯基	USAMI, Hayaki	明治大学	2									
7	兒島 直樹	KOJIMA, Naoki	日本大学	2									
10	三澤 優樹	MISAWA, Yuki	日本大学	3									
13	鴨下 拓弥	KAMOSHITA, Takuya	日本体育大学	2									
16	尾形 尚彦	OGATA, Takahiko	中央大学	4									
19	川田 真也	KAWADA, Shinya	日本体育大学	2									
22	山田 拓海	YAMADA, Takumi	早稲田大学	1									
25	道見 優太	DOUMI, Yuta	鹿屋体育大学	2									
28	渡邊 翔悟	WATANABE, Shogo	日本体育大学	3									
31	藤井 涼介	FUJII, Ryosuke	日本体育大学	1									
34	青島 冬弥	AOSHIMA, Touya	明星大学	1									
37	及川 一総	OIKAWA, Kazusa	作新学院大学	4									
40	菊地 優吾	KIKUCHI, Yugo	東北学院大学	3									
43	大庭 正汰	OHNIWA, Shota	筑波大学	4									
46	沢野 大地	SAWANO, Daichi	作新学院大学	2									
49	渡辺 拓海	WATANABE, Takumi	作新学院大学	1									
52	纈纈 壮太郎	KOUKETSU, Soutaro	慶應義塾大学	3									
55	小原 慧	OHARA, Kei	慶應義塾大学	2									
58	西村 行生	NISHIMURA, Kousei	慶應義塾大学	1									
61	橋本 友哉	HASHIMOTO, Yuya	東京都立大学	2									
64	加藤 遼	KATO, Ryo	東京工業大学	2									
67	前畠 佑介	MAEHATA, Yusuke	日本大学	3									
70	今村 健斗	IMAMURA, Kento	日本大学	2									
73	樽見 潤平太	TARUMI, Junpeita	日本大学	1									
76	堀 良寛	HORI, Yoshihiro	一橋大学	3									
79	中西 啓	NAKANISHI, Hiro	法政大学	3									
82	中津川 開	NAKATSUGAWA, Kai	法政大学	2									
85	小林 右京	KOBAYASHI, Ukyo	明治大学	3									
88	平林 飛都	HIRABAYASHI, Takato	明星大学	3									
91	齋藤 一輝	SAITO, Kazuki	明星大学	2									
94	細田 悠太	HOSODA, Yuta	早稲田大学	2									
97	松原 颯祐	MATSUBARA, Sousuke	日本体育大学	2									
100	多田 雄飛	TADA, Yuhi	新潟食料農業大学	2									
103	山内 湊太	YAMAUCHI, Keita	中京大学	2									
106	松山 涼	MATSUYAMA, Ryo	京都大学	4									
109	古谷田 貴斗	KOYATA, Takato	鹿屋体育大学	2									
112	西丘 凌吾	NISIOKA, Ryogo	鹿屋体育大学	1									
115	古林 一夢	KOBAYASHI, Hitomu	Team Eurasia-IRC TIRE										
118	鈴木 道也	SUZUKI, Michiya	Team Eurasia-IRC TIRE										

男子大学生クリテリウム 予選 B組 (決勝へ16名上がり)
CRITERIUM QUAL.-B / UNIVERSITY STUDENT-MEN
予選 A組 終了後スタート
1.5km×5周=7.5km

ゼッケン No.	氏 名	Name	Name of Team	学年	1st						Total Point	Fin	Rank
					2nd								
					3rd								
					4th								
					1 4	2 3	3 2	4 1	5 G				
2	依 田 翔 大	YODA, Shota	日本大学	3									
5	高 橋 舜	TAKAHASHI, Shun	日本大学	2									
8	馬 越 裕 之	UMAKOSHI, Hiroyuki	中央大学	2									
11	谷 彰 太	TANI, Shota	日本大学	2									
14	仮 屋 和 駿	KARIYA, Kazutoshi	日本大学	2									
17	平安山 良 希	HENZAN, Ryoki	日本体育大学	3									
20	高 橋 翼	TAKAHASHI, Tsubasa	東北学院大学	3									
23	山 本 哲 央	YAMAMOTO, Tetsuo	中央大学	3									
26	橋 本 嶺 登	HASHIMOTO, Reito	長野大学	3									
29	佐 藤 大 志	SATO, Hiroshi	明星大学	3									
32	生 野 優 翔	SHONO, Yuto	日本大学	1									
35	大河内 将 泰	OKOCHI, Masahiro	鹿屋体育大学	1									
38	大 山 慶	OHYAMA, Kei	作新学院大学	3									
41	飯 田 優 星	IIDA, Yusei	東北学院大学	2									
44	村 山 浩 司	MURAYAMA, Koushi	作新学院大学	3									
47	笹 川 悠 汰	SASAGAWA, Yuta	作新学院大学	2									
50	重 田 倫 一 郎	SHIGETA, Rinichiro	作新学院大学	1									
53	石 井 悠 太 郎	ISHII, Yutaro	慶應義塾大学	3									
56	吉 田 直	YOSHIDA, Nao	慶應義塾大学	2									
59	佐 藤 岳	SATO, Gaku	慶應義塾大学	1									
62	細 中 翔 太	HOSONAKA, Shota	中央大学	3									
65	目 黒 大 雅	MEGURO, Taiga	東洋大学	4									
68	野 村 将 矢	NOMURA, Masaya	日本大学	3									
71	市 川 光 人	ICHIKAWA, Mitsuhito	日本大学	2									
74	稲 延 夢 元	INANOBE, Mugen	日本大学	1									
77	松 崎 広 太	MATSUZAKI, Kouta	法政大学	3									
80	松 本 大 志	MATSUMOTO, Masashi	法政大学	3									
83	高 原 令 伍	TAKAHARA, Reigo	法政大学	1									
86	白 尾 雄 大	SHIRAO, Yudai	明治大学	2									
89	大 関 一 輝	OHZEKI, Kazuki	明星大学	3									
92	高 田 堅 斗	TAKADA, Kento	明星大学	1									
95	藤 原 遼 祐	FUJIWARA, Ryosuke	東海大学	4									
98	北 村 翔 太	KITAMURA, Shota	日本体育大学	1									
101	渡 邊 八 起	WATANABE, Yaoki	新潟食料農業大学	2									
104	初 川 弘 浩	HATSUKAWA, Kohiro	中京大学	1									
107	長 松 空 吾	NAGAMATSU, Kugo	鹿屋体育大学	3									
110	馬 場 慎 也	BABA, Shinya	鹿屋体育大学	2									
113	鳥 海 祐 甫	TORIUMI, Yusuke	Team Eurasia-IRC TIRE										
116	積 田 連	TUMITA, Ren	Team Eurasia-IRC TIRE										

参考タイム

' "

男子大学生クリテリウム 予選 C組 (決勝へ16名上がり)
CRITERIUM QUAL.-C / UNIVERSITY STUDENT-MEN
予選 B組 終了後スタート
1.5km×5周=7.5km

ゼッケン No.	氏 名	Name	Name of Team	学年	1st					Total Point	Fin	Rank
					2nd							
					3rd							
					4th							
					1 4	2 3	3 2	4 1	5 G			
3	片 桐 東次郎	KATAGIRI, Toujiro	日本大学	3								
6	床 井 亮 太	TOKOI, Ryota	作新学院大学	4								
9	西 原 裕太郎	NISHIHARA, Yutaro	鹿屋体育大学	3								
12	渡 邊 慶 太	WATANABE, Keita	明治大学	4								
15	佐 藤 健	SATO, Ken	日本大学	3								
18	青 木 拓 穂	AOKI, Takuho	明治大学	3								
21	寺澤アンドリュウ	TERASAWA, Andrew	ハ戸学院大学	2								
24	松 井 夢 源	MATSUI, Mugen	明星大学	2								
27	五十嵐 洸 太	IKARASHI, Kouta	中央大学	1								
30	小 村 悠 樹	KOMURA, Haruki	金沢大学	3								
33	重 田 恵 杜	SHIGETA, Keito	順天堂大学	2								
36	福 嶋 聡 史	FUKUSHIMA, Satoshi	一橋大学	3								
39	園 田 大 智	SONODA, Taichi	順天堂大学	2								
42	齊 藤 伸 吾	SAITO, Shingo	筑波大学	4								
45	中 村 優 太	NAKAMURA, Yuta	作新学院大学	3								
48	松 本 輝	MATSUMOTO, Hikaru	作新学院大学	2								
51	長谷川 大	HASEGAWA, Masaru	学習院大学	3								
54	佐 藤 尚 弘	SATO, Naohiro	慶應義塾大学	3								
57	川 野 碧 己	KAWANO, Aoki	慶應義塾大学	1								
60	宮 本 秋 哉	MIYAMOTO, Shuya	駒澤大学	2								
63	武 井 稜 哉	TAKEI, Ryoya	中央大学	2								
66	菊 池 魁 人	KIKUCHI, Kaito	日本大学	3								
69	岩 永 湊	IWANAGA, Kei	日本大学	2								
72	北 宅 柊 麻	KITAYA, Tsuma	日本大学	1								
75	吉 田 真 聖	YOSHIDA, Shinsei	日本大学	1								
78	青 島 敬 佑	AOSHIMA, Keisuke	法政大学	3								
81	風 間 竜 太	KAZAMA, Ryuta	法政大学	2								
84	黒 川 祐次郎	KUROKAWA, Yujiro	法政大学	1								
87	島 田 柊 生	SHIMADA, Shusei	明星大学	3								
90	今 井 希	IMAI, Nozomi	明星大学	2								
93	河 野 翔 輝	KAWANO, Shoki	早稲田大学	3								
96	松 本 陸	MATSUMOTO, Riku	東海大学	2								
99	比 嘉 祐 貴	HIGA, Yuki	日本体育大学	1								
102	檜 村 奏 太	HIMURA, Souta	新潟食料農業大学	1								
105	辰 巳 寛 明	TATSUMI, Hiroaki	京都大学	4								
108	新 垣 慶 晃	ARAKAKI, Chikateru	鹿屋体育大学	2								
111	伊 澤 将 也	IZAWA, Masaya	鹿屋体育大学	1								
114	相 野 晴	AINO, Teru	Team Eurasia-IRC TIRE									
117	色 川 岳 宏	IROKAWA, Takehiro	Team Eurasia-IRC TIRE									

参考タイム

' "

No Attack!
No Chance!!



BICYCLE **JAPAN**

自転車・電動モビリティマガジン

BICYCLE JAPAN は学生自転車競技を応援しています。

発行

株式会社ライジング出版

RiSING
PUBLISHING COMPANY

バックナンバー、購読のお問い合わせは

<http://www.rising-publish.co.jp/>

✉ **publish.rising@tcn-catv.ne.jp**

書店でのご注文は 発売元：(株)芸文社 tel. 03-5697-0220 (注文センター)

女子クリテリウム

WOMEN'S CRITERIUM

13:20 スタート
1.5km×10周=15km

ゼッケンNo.	氏 名	Name	Name of Team	学年	記録 (Time)	Rank
121	中 川 由 理	NAKAGAWA, Yuri	日本大学	2	' "	
122	小 口 加奈絵	KOGUCHI, Kanae	日本体育大学	3	' "	
123	阿 部 花 梨	ABE, Karin	順天堂大学	2	' "	
124	鈴 木 保乃華	SUZUKI, Honoka	法政大学	3	' "	
125	牧 田 咲 子	MAKITA, Sakiko	順天堂大学	1	' "	
126	山 本 侑 果	YAMAMOTO, Yuka	東京都立大学	2	' "	
127	太 郎 田 水 桜	TARODA, Mio	法政大学	2	' "	
128	野 寺 梓	NODERA, Azusa	法政大学	2	' "	
129	阿 部 セ ラ	ABE, Sera	法政大学	1	' "	
130	岩 元 杏 奈	IWAMOTO, Anna	日本体育大学	2	' "	
131	石 上 夢 乃	ISHIGAMI, Yuno	鹿屋体育大学	2	' "	
132	成 海 綾 香	NARUMI, Ayaka	鹿屋体育大学	2	' "	

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケンNo.	Name	Name of Team
3周回終了時			
6周回終了時			

男子大学生クリテリウム 決勝
 CRITERIUM FINAL / UNIVERSITY STUDENT-MEN

14:00 スタート
1.5km×20周 = 30km

通しNo	ゼッケンNo.	氏 名	チーム名 (Name of Team)	記録 (Time)	Rank
1				' "	
2				' "	
3				' "	
4				' "	
5				' "	
6				' "	
7				' "	
8				' "	
9				' "	
10				' "	
11				' "	
12				' "	
13				' "	
14				' "	
15				' "	
16				' "	
17				' "	
18				' "	
19				' "	
20				' "	
21				' "	
22				' "	
23				' "	
24				' "	
25				' "	
26				' "	
27				' "	
28				' "	
29				' "	
30				' "	
31				' "	
32				' "	
33				' "	
34				' "	
35				' "	
36				' "	
37				' "	
38				' "	
39				' "	
40				' "	

通しNo	ゼッケンNo.	氏 名	大学名 (Name of Team)	記録 (Time)	Rank
41				' "	
42				' "	
43				' "	
44				' "	
45				' "	
46				' "	
47				' "	
48				' "	

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケンNo.	Name	Name of Team
5周回終了時			
10周回終了時			
15周回終了時			

女子・男子大学生クリテリウム予選・決勝 チームユニフォーム紹介

※大学名の右の○数字は昨年のグループ1(大学対抗)の8位までの順位です。ユニフォームの掲載順は昨年の8位までの大学対抗成績順、クラス1及びクラス1相当の選手のいるチーム、男女合計で出場人数の多いチーム順、人数が同じ場合はアイウエオ順です。

日本体育大学 ①



明治大学 ②



明星大学 ③



日本大学 ④



中央大学 ⑥



作新学院大学 ⑦



鹿屋体育大学



東北学院大学



八戸学院大学



早稲田大学



TEAM EURASIA-iRC TIRE



法政大学



女子・男子大学生クリテリウム予選・決勝 チームユニフォーム紹介

慶應義塾大学



順天堂大学



新潟食料農業大学



京都大学



中京大学



筑波大学



東京都立大学



東海大学



一橋大学



学習院大学



金沢大学



駒澤大学



東京工業大学



東洋大学



長野大学



第11回 大学自転車競技フォーラム 2021 東京

2021年へむけて (その8)

「新しい自転車競技生活様式：コロナ・パンデミックとサイクリング e-レース」

2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致が決まって以来、本フォーラムは「その後」をテーマに取り組んできました。その道中での新型コロナウイルスの世界的広がりにより、在宅とウェブと言う新たな生活習慣が確立しつつあるように見えます。自転車競技でも在宅・ウェブで参加出来る新たな形である自転車 e レースを取り上げ、その現状を考えます。

期日 2021年3月6日 (土) 14:00より

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 1 階 102 研修室と zoom 会議室

* 会場の密を避けるため聴講希望の方は出来るだけ zoom にて参加頂くようお願いします。

13:30 会場受付開始 (zoom open 13:50)

司会 植田 瑞貴 日本学生自転車競技連盟理事

14:00 開会挨拶 井関 康正 日本学生自転車競技連盟副会長

14:05 講演

新型コロナウイルス感染症対策：何をすれば良いのか

橋都 浩平 日本学生自転車競技連盟感染対策委員会顧問

e レースの活用方法、海外での評価

橋川 健 UCI 公認コーチ/JCF 強化支援スタッフ/チームユーラシア-IRC タイヤ代表

e レースのイベントとしての可能性

芦田 千里 サイクルレースアナウンサー

e イベントを使った地域活性への取組

丸山 文広 木曽おんたけ観光局

— 休憩

15:20 e レースの感想と講演を聞いて

古田 雅拓 東京都立大学/日本学生自転車競技連盟学生委員

寺澤 アンドリュウ 八戸学院大学/2020 年度日本学生自転車競技連盟 e 選手権優勝者

加藤 遼 東京工業大学/2020 年度日本学生自転車競技連盟 e シリーズ総合上位者)

— 質疑応答

15:55 閉会挨拶 村岡 功 日本学生自転車競技連盟会長

16:00 閉会

聴講無料ですが、[2020 年度大学自転車フォーラム応募フォーム - Google フォーム](#)****

にて 3 月 3 日までにお申し込み下さい。

主催：日本学生自転車競技連盟

郵便番号160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408

Website: <https://jicf.info> E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp

生命保険は、
愛する家族への想い。
そして、保険金をお届けすることが
私たちの使命です。

“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山“ジブラルタ・ロック”が、
ジブラルタ生命の社名の由来です。

親会社プルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである“ジブラルタ・ロック”は、
時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。

ジブラルタ生命

検索

ジブラルタ生命保険株式会社 東京東支社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 tel. 03-5282-8170

【コールセンター】 0120-37-2269 【ジブラルタ生命ホームページ】 <http://www.gib-life.co.jp/>

【受付時間】 平日 8:30～20:00 土曜 9:00～17:00（日曜・祝日・12/31～1/3を除く）携帯電話・PHSからもご利用いただけます。通話料無料。

第一回大会成績 / RESULTS OF THE 1st EVENT 2007年2月4日(日)

日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	明治大学
2位	鹿屋体育大学
3位	法政大学
4位	早稲田大学
5位	日本大学
6位	中央大学
7位	中京大学

グループA

1位	湯浅 徹	明治大学
2位	角 令央奈	鹿屋体育大学
3位	島田 真琴	法政大学

グループB

1位	湯浅 大輔	法政大学
2位	我妻 敏	日本大学
3位	兼平 純	日本大学

グループC

1位	遠藤 邦明	法政大学
2位	下沖 功児	慶應義塾大学
3位	阿部 力也	日本大学

グループD

1位	工藤 薫	早稲田大学
2位	大谷 雄貴	東海大学
3位	岡林 秀樹	信州大学

女子

1位	和田見 里美	中京大学
2位	石井 寛子	明治大学
3位	小淵 千恵	順天堂大学



第二回大会成績 / RESULTS OF THE 2nd EVENT 2008年2月11日(祝)

2008年世界大学選手権自転車競技大会代表選手選考大会・日仏交流150周年記念

2007年度全日本学生ロードレースシリーズ最終戦 第二回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	法政大学
2位	鹿屋体育大学
3位	早稲田大学
4位	順天堂大学
5位	明治大学
6位	日本大学
7位	中央大学

シリーズ戦総合成績

1位	辻本 翔太	順天堂大学
2位	渡辺 将大	中央大学
3位	笠原 慶輔	明治大学
4位	飯塚 航	中央大学
5位	池田 諒	明治大学
6位	山本 雅之	中央大学
7位	半田 雅信	順天堂大学
8位	十時 正嗣	早稲田大学



マスターズ・クリテリウム

1位	高橋 仁	千葉
2位	善波 昭	東京
3位	藤井 壮太	静岡
12位	ベルナール・イノー	フランス

小中学生タイムトライアル

小1	日置 大介	2分46秒72
小1	田口 真衣	3分28秒94
小5	坂井 奈津子	2分04秒01
小5	藤田 一鷹	1分59秒55
小5	日置 桃子	2分19秒85
小5	影森 毅	1分57秒72
中1	山崎 英明	2分03秒76
中2	添野 健司	2分06秒45
小3	橋本 啓吾	2分52秒54

グループ1 (大学対抗)

1位	湯浅 徹	明治大学
2位	内間 康平	鹿屋体育大学
3位	青柳 豊輝	法政大学

グループ3

1位	江夏 司朗	鹿屋体育大学
2位	後藤 志太	法政大学
3位	東矢 昇太	中央大学

女子

1位	川又 千裕	鹿屋体育大学
2位	戸井 麻里子	
3位	智野 真央	



第三回大会成績 / RESULTS OF THE 3rd EVENT 2009年2月22日(日)

2008年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第三回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	鹿屋体育大学
2位	中央大学
3位	日本大学
4位	順天堂大学
5位	法政大学
6位	東京大学

シリーズ戦総合成績

1位	辻本 翔太	順天堂大学
2位	西園 良太	東京大学
3位	福田 高志	大阪経済大学
4位	堀内 俊介	中央大学
5位	飯塚 航	中央大学
6位	加藤 哲史	順天堂大学
7位	飯野 智行	中央大学
8位	入部 正太郎	早稲田大学



小中学生タイムトライアル

小1	井関 紗瑛子	3分34秒55
小2	野村 彩花	3分12秒26
小2	岩崎 裕憲	2分38秒50
小2	桶本 あかり	3分40秒38
小2	日置 大介	2分37秒15
小3	勝又 南虹	3分37秒40
小3	早船 康太郎	2分26秒28
小3	竹内 涼太	2分46秒65
小4	橋本 啓吾	2分39秒13
小4	植松 雄大	2分26秒82
小5	岩崎 裕美子	2分23秒22
小5	勝又 聡太	2分24秒95
小6	日置 桃子	2分15秒13
小6	山下 尚	3分18秒01
中1	福島 佳耀子	2分13秒25
中2	桶本 拓	2分41秒67

親子タイムトライアル (親子の合計タイム)

小6	藤田 一鷹	3分53秒00
親	藤田 照夫	

グループ1 (大学対抗)

1位	内間 康平	鹿屋体育大学	42P
2位	吉田 隼人	鹿屋体育大学	23P
3位	窪木 一茂	日本大学	19P

グループ3B

1位	若生 大貴	法政大学	33P
2位	二階堂 尚志	関西大学	24P
3位	山田 亮	日本大学	10P

女子

1位	荻島 美香	アライレーシング	37P
2位	近藤 美子	鹿屋体育大学	20P
3位	堀 友紀代	Ready Go JAPAN	17P

マスターズ・クリテリウム

1位	佐々木 一昭	15P
1位	善波 昭	15P
3位	小畑 郁	10P

第四回大会成績 / RESULTS OF THE 4th EVENT 2010年2月21日(日)

2009年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第四回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	早稲田大学
2位	中央大学
3位	鹿屋体育大学
4位	韓国體育大學校
5位	日本大学
6位	順天堂大学
7位	法政大学

シリーズ戦総合成績 (門田杯)

1位	西園 良太	東京大学
2位	堀内 俊介	中央大学
3位	飯野 智行	中央大学
4位	十時 正嗣	早稲田大学
5位	入部 正太郎	早稲田大学
6位	佐々木 龍	早稲田大学
7位	郡司 昌紀	中央大学
8位	福田 高志	大阪経済大学



小中学生タイムトライアル

小1	藤田 翔子	3分45秒16
小2	早船 正次郎	2分42秒92
小2	井関 紗瑛子	2分42秒11
小3	野村 彩花	2分37秒16
小3	日置 大介	2分18秒47
小3	桶本 あかり	3分07秒47
小3	岩崎 裕憲	2分31秒80
小4	竹内 涼太	2分36秒62
小6	岩崎 裕美子	2分10秒42
小6	村岡 慶人	2分14秒84
小6	住知 悠知	2分43秒02
中1	日置 桃子	2分09秒56
中1	藤田 一鷹	1分50秒19
中3	桶本 拓	2分29秒35

マスターズ・タイムトライアル

梅野 優哉	1分31秒39
勝川 真司	1分33秒29
善波 昭	1分35秒34
宮 弘行	1分34秒53

グループ1 (大学対抗)

1位	野口 正則	鹿屋体育大学	29P
2位	佐々木 龍	早稲田大学	21P
3位	李 成鎬	韓国體育大學校	19P

グループ3B

1位	佐々木 真	法政大学	20P
2位	前田 紘明	順天堂大学	12P
3位	清水 洋佑	同志社大学	9P

女子

1位	近藤 美子	鹿屋体育大学	15P
2位	和田見 里美	中京大学	13P
3位	田中 まい	日本体育大学	12P

マスターズ・クリテリウム

1位	橋本 健	20P
2位	加地 邦彦	13P
3位	倉林 貴彦	11P

グループ3A

1位	木村 洋介	順天堂大学	15P
2位	荻原 英文	中央大学	10P
3位	阿部 拓真	法政大学	9P

第五回大会成績 / RESULTS OF THE 5th EVENT 2011年2月20日(日)

2010年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第五回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	オランダ学生チーム
2位	中央大学
3位	日本大学
4位	鹿屋体育大学
5位	順天堂大学
6位	東京大学
7位	明治大学
8位	慶應義塾大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	西園良太	東京大学
2位	笠原恭輔	中央大学
3位	入部正太郎	早稲田大学
4位	堀内俊介	中央大学
5位	大塚中巧	早稲田大学
6位	窪木一基	日本大学
7位	窪木昌紀	中央大学
8位	中根英登	中央大学



グループ1(大学対抗)

1位	吉田隼人	鹿屋体育大学	38P
2位	窪木一茂	日本大学	32P
3位	Lars van de Vall	オランダ学生T	25P

グループ2

1位	山本吉喜	鹿屋体育大学	19P
2位	住本宏	日本大学	19P
3位	大田巧基	早稲田大学	11P

グループ3A

1位	安原寿人	山梨学院大学	17P
2位	大庭尚也	日本大学	10P
3位	村田拓	環太平洋大学	10P

グループ3B

1位	福沢涼太	日本体育大学	17P
2位	高橋知生	東北学院大学	12P
3位	澤田集	東京工業大学	12P

女子

1位	石井寛子	スーパーKアスリートラボ	28P
2位	近藤美子	鹿屋体育大学	24P
3位	田中まい	日本体育大学	17P

マスターズ・クリテリウム

1位	小畑郁	16P
2位	ソールズベリー・ポール	15P
3位	増田輝之	13P

小中学生タイムトライアル

小1	林泰雅	3分26秒30
小1	渡辺耶雅	2分15秒52
小1	天野洵	3分25秒57
小2	野村洵	2分44秒40
小2	負角光	4分23秒68
小2	中村大地	3分03秒50
小2	藤翔子	3分01秒26

小3	井関紗瑛子	2分24秒10
小4	野村彩花	2分24秒99
小4	岩崎裕憲	2分21秒58
小4	多田れおん	2分36秒62
小6	花田聖誠	1分55秒94
中1	岩崎裕美子	2分08秒36
中2	藤田一鷹	1分43秒65

マスターズ・タイムトライアル

藤田照夫	1分56秒55
ソールズベリー・ポール	1分29秒83
福田実修	1分52秒36
加藤秀修	1分42秒79
梅野秀弘	1分34秒40
宮野行哉	1分36秒40
飯島優誠	1分31秒61
飯島誠	1分41秒15

親子タイムトライアル(親子の合計タイム)

中2	藤田一鷹	3分40秒20
親	藤田照夫	

第六回大会成績 / RESULTS OF THE 6th EVENT 2012年2月19日(日)

2011年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第六回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	日本大学
2位	早稲田大学
3位	中央大学
4位	メルボルン大学T
5位	明治大学
6位	立教大学
7位	鹿屋体育大学
8位	順天堂大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	大田中巧基	早稲田大学
2位	入部正太郎	早稲田大学
3位	山本隼	中央大学
3位	安井雅彦	東京大学
5位	西沢倭義	明治大学
5位	金井誠	明治大学
7位	佐々木龍	早稲田大学
8位	早川朋宏	法政大学



グループ1(大学対抗)

1位	黒枝士一	鹿屋体育大学	31P
2位	窪木一茂	日本大学	29P
3位	堀内俊介	中央大学	25P

グループ2A

1位	和田力	日本大学	18P
2位	雨宮正樹	日本大学	17P
3位	三浦庸	早稲田大学	8P

グループ2B

1位	板橋義浩	日本大学	15P
2位	緑川一	中央大学	14P
3位	矢次一	順天堂大学	10P

グループ3A

1位	平井匠	法政大学	13P
2位	村上哲也	順天堂大学	12P
3位	今井一誠	早稲田大学	12P

グループ3B

1位	松本諒	朝日大学	17P
2位	阿部拓真	法政大学	13P
3位	足立一真	早稲田大学	12P

女子

1位	塚越さくら	鹿屋体育大学	33P
2位	小島蓉	日本体育大学	24P
3位	古河麻美	日本体育大学	17P

マスターズ・クリテリウム

1位	小畑郁	27P
2位	ソールズベリー・ポール	13P
3位	山本健一	13P

小中学生タイムトライアル

小1	中嶋岳	3分13秒46
小1	西千太	3分21秒34
小2	佐々木照太	3分24秒22

小2	長沼智哉	2分33秒64
小3	野村遥	2分39秒21
小3	福田菜乃	3分00秒04
小3	藤田翔子	2分45秒11
小4	井関紗瑛子	2分08秒11
小5	多田れおん	2分03秒22
小5	野村彩花	2分22秒92
小6	吉岡花馬	1分58秒60
中1	吉岡大	1分48秒52
中3	藤田一鷹	1分37秒18
中3	竹下	1分52秒36
中3	竹下	1分47秒97

マスターズ・タイムトライアル

山本健一	1分30秒34
梅野秀哉	1分37秒21
梅野優哉	1分32秒43
ソールズベリー・ポール	1分27秒92
赤石和彦	1分38秒03
橋本惣	1分38秒25

第七回大会成績 / RESULTS OF THE 7th EVENT 2013年2月17日(日)

2012年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第七回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	鹿屋体育大学
2位	順天堂大学
3位	中央大学
4位	法政大学
5位	アムステルダム大学
6位	中央大学
7位	日本大学
8位	明治大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	西沢倭義	明治大学
2位	大田中巧基	早稲田大学
3位	佐々木勇輔	早稲田大学
4位	金井誠	明治大学
5位	山本隼	中央大学
6位	森田雅士	立教大学
7位	緑川一	中央大学
8位	安井雅彦	東京大学



グループ1(大学対抗)

1位	黒枝士揮	鹿屋体育大学	38P
2位	西沢倭義	明治大学	22P
3位	Lars van de Vall	アムステルダム大学	20P

グループ2A

1位	橋本英也	鹿屋体育大学	27P
2位	黒瀬耕平	中央大学	15P
3位	相本祥政	法政大学	8P

グループ2B

1位	笠原恭輔	中央大学	15P
2位	高宮佑	日本大学	15P
3位	谷岡駿	朝日大学	12P

グループ3A

1位	山本琢也	朝日大学	16P
2位	関根寛人	法政大学	12P
3位	米川正人	駒澤大学	10P

グループ3B

1位	吉川希望	順天堂大学	17P
2位	森田万	法政大学	12P
3位	栗田	順天堂大学	10P

女子

1位	上野みなみ	鹿屋体育大学	22P
2位	塚越さくら	鹿屋体育大学	19P
3位	小島蓉	日本体育大学	15P

マスターズ・クリテリウム

1位	倉林貴彦	22P
2位	小室雅成	16P
3位	小畑郁	16P

小中学生タイムトライアル

小1	長島慧明	2分58秒64
小2	長嶺公俊	2分52秒31
小2	中嶋岳	3分02秒92
小3	佐々木照太	2分48秒04

小3	高橋聖太郎	3分32秒93
小4	野村遥	2分38秒05
小4	猪元公夏	3分07秒60
小4	金田舞	2分10秒62
小4	藤田翔子	2分47秒68
小5	小松織子	3分02秒35
小5	井関紗瑛子	2分03秒07
小5	小原健汰	1分59秒98
小6	清水大地	1分56秒06
小6	京村周輝	1分55秒34
中1	加藤俊人	1分48秒51
中1	加藤俊人	2分05秒37

マスターズ・タイムトライアル

橋本惣	1分39秒95
船山	1分47秒60
赤石和彦	1分44秒09
木直幹	1分47秒99
ソールズベリー・ポール	1分30秒91
山本健一	1分32秒46
中村倉井	1分33秒49
山柳善征	1分38秒61
藤田	1分36秒38
藤田	1分35秒10

第8回大会成績 / RESULTS OF THE 8th EVENT 2014年2月16日(日)

2013年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第八回 明治神宮外苑大学クリテリウム

※前々日の大雪によるコース上の残雪が多いため試合開催中止。

(ロードレース・カップ・シリーズ総合表彰式、大学自転車フォーラムは実施)

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	金井 誠人	明治大学
2位	佐々木 勇輔	早稲田大学
3位	高木 三千也	立教大学
4位	森田 雅士	立教大学
5位	小林 和希	明治大学
6位	山本 希集	中央大学
7位	小清水 拓也	東海大学
8位	池邊 聖	慶應義塾大学



第9回大会成績 / RESULTS OF THE 9th EVENT 2015年3月8日(日)

2014年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第九回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	鹿屋体育大学
2位	法政大学
3位	中央大学
4位	順天堂大学
5位	東京大学
6位	日本体育大学
7位	早稲田大学
8位	中京大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	相本 祥政	法政大学
2位	小林 和希	明治大学
3位	高木 三千也	立教大学
4位	荒井 佑太	法政大学
5位	河賀 雄大	立命館大学
6位	佐々木 勇輔	早稲田大学
7位	浦 佑樹	東京大学
8位	秋田 拓磨	朝日大学



グループ1(大学対抗)

1位	橋本 英也	鹿屋体育大学	43'28"
2位	荒井 佑太	法政大学	
3位	小林 泰正	日本体育大学	

グループ2A

1位	鈴木 天	朝日大学	18'07"
2位	花立 優希	日本大学	
3位	白垣 良祐	法政大学	

グループ2B

1位	原田 裕成	鹿屋体育大学	17'34"
2位	沼口 竜馬	日本大学	
3位	大浦 恭史	日本大学	

グループ3A

1位	柴崎 俊祐	鹿屋体育大学	
2位	坂倉 玄京	明治大学	
3位	小西 瑛久	関西大学	

グループ3B

1位	安本 昇平	鹿屋体育大学	
2位	新城 雄一朗	朝日大学	
3位	橋本 直	鹿屋体育大学	

女子

1位	上野 みなみ	鹿屋体育大学	19'22"
2位	坂口 聖香	日本体育大学	
3位	齋藤 望	日本体育大学	

マスターズ・クリテリウム

1位	小畑 郁	18'17"
2位	ソールズベリー・ポール	
3位	高橋 誠	

小中学生タイムトライアル

小1	岡澤 蒼天	2分52秒00
小2	中嶋 一能	2分57秒00
小4	長嶺 公俊	2分40秒00



小4	中嶋 岳楽	2分42秒00
中1	青木 尊	2分07秒00
中1	井関 紗瑛子	2分14秒00
中3	京岡 優馬	1分56秒00

マスターズ・タイムトライアル

山口 史明	1分34秒00
赤石 和彦	1分43秒00
ソールズベリー・ポール	1分29秒00
伊藤 晋一	1分36秒00
小畑 郁	1分35秒00
大島 達也	1分52秒00

第十回大会成績 / RESULTS OF THE 10th EVENT 2016年3月13日(日)

2015年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第十回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	日本大学
2位	アムステルダム大学
3位	早稲田大学
4位	明治大学
5位	日本体育大学
6位	順天堂大学
7位	中央大学
8位	駒澤大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	小林 和希	明治大学
2位	野本 樹	明治大学
3位	孫崎 大樹	早稲田大学
4位	重田 兼吾	順天堂大学
5位	伊藤 大地	東北学院大学
6位	伊藤 和輝	早稲田大学
7位	伊東 泰輝	順天堂大学
8位	荒井 佑太	法政大学



グループ1(大学対抗)

1位	岡本 隼	日本大学	43'05"
2位	Sjors Handgraaf	アムステルダム大学	
3位	森口 寛己	日本大学	

グループ2A

1位	岡部 祐太	日本体育大学	17'35"
2位	沼口 竜馬	日本大学	
3位	佐々木 真也	日本大学	

グループ2B

1位	青野 将大	法政大学	17'21"
2位	山下 祥平	日本体育大学	
3位	緑川 裕	日本大学	

グループ3A

1位	高原 湊人	朝日大学	13'48"
2位	小川 司	大阪産業大学	
3位	富嶋 奎太	同志社大学	

グループ3B

1位	川上 俊太	東海大学	13'44"
2位	吉川 澄	朝日大学	
3位	後藤 悠	早稲田大学	

女子

1位	岡本 二葉	スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラパロ	19'43"
2位	齋藤 望	日本体育大学	
3位	江藤 里佳子	鹿屋体育大学	

マスターズ・クリテリウム

1位	小畑 郁	17'51"
2位	山崎 潤	
3位	梅野 優哉	

小中学生タイムトライアル

小1	飯島 柊	3分05秒98
小1	大村 一樹	3分25秒93
小2	毛利 瑞紀	7分21秒24
小2	岡澤 蒼天	2分44秒16
小3	岩田 怜奈	2分41秒83
小4	進藤 真子	3分47秒22
小4	山本 康	2分28秒01
小5	雨下 大地	5分53秒41
小5	五十嵐 匠	2分22秒21
小5	伊藤 大	3分28秒06
小6	岩田 惇希	2分16秒97



中1	佐藤 伊織	1分48秒32
中2	稲留 翔哉	1分41秒95
中3	橋本 優樹	1分49秒99
中3	小宮山 瑞樹	2分01秒21

マスターズ・タイムトライアル

伊藤 晋一	1分32秒88
赤石 和彦	1分37秒26
山口 史明	1分36秒53
小口 慎雄	1分43秒14
山本 健	1分31秒77
小林 清	1分31秒83
高岡 亮	1分36秒65

第11回大会成績 / RESULTS OF THE 11th EVENT 2017年3月12日(日)

2016年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第11回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

- 1位 日本大学
- 2位 中央大学
- 3位 日本体育大学
- 4位 明治大学
- 5位 順天堂大学
- 6位 京都産業大学
- 7位 法政大学
- 8位 鹿屋体育大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

- 1位 野本 空 明治大学
- 2位 石原 悠希 順天堂大学
- 3位 岡部 祐太 日本体育大学
- 4位 岡部 祐太 日本体育大学
- 4位 孫崎 大樹 早稲田大学
- 6位 小林 泰正 日本体育大学
- 7位 小林 和希 明治大学
- 8位 原 裕紀 順天堂大学



グループ1 (大学対抗)

- 1位 岡本 隼 日本大学 42'26"
- 2位 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学
- 3位 原 博斗 中央大学

グループ2A

- 1位 直井 駿太 中央大学 17'16"
- 2位 小林 和希 明治大学
- 3位 渡部 将太 法政大学

グループ2B

- 1位 阿部 将大 鹿屋体育大学 17'20"
- 2位 竹井 慧 日本大学
- 3位 中川 拳 早稲田大学

グループ3A

- 1位 早川 裕紀 日本大学 09'00"
- 2位 山口 和也 ハ戸学院大学
- 3位 山本 涼太 東海大学

グループ3B

- 1位 松本 梧 朝日大学 09'00"
- 2位 大喜多 将 慶應義塾大学
- 3位 尾坂 爽太 東海大学

グループ3C

- 1位 富 武大 明治大学 08'59"
- 2位 渡口 勝成 日本大学
- 3位 山本 修史 中京大学

女子

- 1位 中井 彩子 鹿屋体育大学 19'11"
- 2位 岡本 二葉 日本体育大学
- 3位 高田 奈生 鹿屋体育大学

マスターズ・クリテリウム

- 1位 小畑 郁 17'38"
- 2位 山崎 潤
- 3位 高岡 亮寛

パラサイクリング・ロードレース(タンDEM)

- 1位 MOHD ALI, Muhammad Khairul Nizam
SUHAIMY, Muhamad Nur Syafiq
マレーシア 37'40"
- 2位 大城 竜之・高橋 仁 日本
- 3位 ROMZI, Muhammad Amin Najmi
MUHAMED SUFIAN, Mohamad Hafiz
マレーシア



- 小6 佐藤 光晟 2分20秒32
中1 ウィリアムズ カイザー 2分12秒99

小中学生タイムトライアル

- 小2 飯島 柊 2分35秒65
- 小2 大村 一樹 3分09秒13
- 小3 毛利 瑞紀 5分52秒62
- 小4 内山 雷蔵 5分11秒43
- 小3 堀野 隼一郎 2分44秒18
- 小4 ウィリアムズ キリアン 2分45秒67
- 小5 山本 康太 2分23秒31

マスターズ・タイムトライアル

- 山本 健一 1分31秒93
- 小畑 郁 1分30秒54
- 藤田 征樹 1分37秒77
- 伊藤 晋一 1分33秒39
- 須佐 浩二 1分32秒22
- 小林 清仁 1分30秒00

第12回大会成績 / RESULTS OF THE 12th EVENT 2018年3月11日(日)

2017年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第12回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

- 1位 アムステルダム大学
- 2位 中央大学
- 3位 明治大学
- 4位 早稲田大学
- 5位 日本体育大学
- 6位 法政大学
- 7位 駒澤大学
- 8位 東北学院大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

- 1位 岡部 祐太 日本体育大学
- 2位 野本 空 明治大学
- 3位 渡邊 慶太 明治大学
- 4位 篠田 幸希 日本体育大学
- 5位 佐藤 遼 法政大学
- 6位 鈴木 浩太 明星大学
- 7位 原 裕紀 順天堂大学
- 8位 勝又 高陽 法政大学



グループ1 (大学対抗)

- 1位 Derk Abel Becker アムステルダム大学 42'55"
- 2位 渡邊 慶太 明治大学
- 3位 David van Eerd アムステルダム大学

グループ2A

- 1位 堀込 統吾 法政大学 17'33"
- 2位 池西 拓海 明治大学
- 3位 勝又 高陽 法政大学

グループ2B

- 1位 石井 駿平 鹿屋体育大学 17'30"
- 2位 相葉 健太郎 法政大学
- 3位 尾形 尚彦 中央大学

グループ3A

- 1位 松浦 響 朝日大学 09'06"
- 2位 田部 功明 立教大学
- 3位 土橋 勇斗 大阪産業大学

グループ3B

- 1位 手嶋 豊 関西大学 09'00"
- 2位 鷺巣 怜 明星大学
- 3位 千葉 将太 東京大学

グループ3C

- 1位 弘 幸 信州大学 09'11"
- 2位 小林 大祐 鹿屋体育大学
- 3位 金子 征 立教大学

女子

- 1位 橋本 優弥 鹿屋体育大学 19'36"
- 2位 小泉 夢菜 早稲田大学
- 3位 中村 愛花 日本体育大学

マスターズ・クリテリウム

- 1位 小川 恵佑 17'27"
- 2位 高岡 亮寛
- 3位 小畑 郁

ハンドサイクル・ロードレース

- 1位 奥村 直彦 22'06"
- 2位 木村 潤平
- 3位 島田 一彦

小中学生タイムトライアル

- 小1 木原 幹太 3分39秒01
- 小3 志村 真生 3分30秒77
- 小3 大村 一樹 2分47秒53
- 小4 毛利 瑞紀 5分41秒67
- 小4 堀野 隼一郎 2分38秒71
- 小5 内山 雷蔵 3分44秒31
- 小5 飯島 柊 2分40秒35
- 小6 山本 康太 2分12秒09
- 中2 小泉 響貴 1分37秒70

マスターズ・タイムトライアル

- 山本 健一 1分32秒85
- 小畑 郁 1分34秒04



- 藤田 征樹 1分41秒12
- 森 晃彦 1分31秒66
- 伊藤 晋一 1分32秒05
- 小林 清仁 1分33秒61

ハンドサイクル・タイムトライアル

- 権 丈 泰巳 3分19秒59
- 吉田 竜太 2分03秒87
- 田中 誠治 1分54秒49
- 末吉 政巳 2分10秒10
- 木村 潤平 1分55秒68

第13回大会成績 / RESULTS OF THE 13th EVENT 2019年3月10日(日)

2018年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第13回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	早稲田大学
2位	日本大学
3位	法政大学
4位	中央大学
5位	朝日大学
6位	明治大学
7位	日本体育大学
8位	東北学院大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	孫崎 大樹	早稲田大学
2位	渡邊 慶太	明治大学
3位	小嶋 健太	日本大学
4位	栗原 悠	日本大学
5位	松村 恭輔	明治大学
6位	床井 亮	作新学院大学
7位	野本 太	明治大学
8位	篠田 幸希	日本体育大学



グループ1 (大学対抗)

1位	沢田 桂太郎	日本大学	42'28"
2位	孫崎 大樹	早稲田大学	
3位	大前 翔	慶應義塾大学	

グループ2A

1位	小嶋 健太	日本大学	17'08"
2位	成海 大聖	鹿屋体育大学	
3位	花田 凱成	明治大学	

グループ2B

1位	清水 貴梨	日本大学	17'22"
2位	佐々木 洸太	明星大学	
3位	河藤 相真	鹿屋体育大学	

グループ3A

1位	岡田 俊平	筑波大学	08'58"
2位	田仲 駿太	鹿屋体育大学	
3位	藤原 遼祐	東海大学	

グループ3B

1位	東矢 圭吾	中央大学	08'48"
2位	岸田 剛	鹿屋体育大学	
3位	依田 淳之介	東京大学	

グループ3C

1位	坂野 匠	東京大学	08'53"
2位	山本 耀介	北海道大学	
3位	三浦 隆也	東海大学	

女子

1位	中村 愛花	日本体育大学	19'27"
2位	岡本 二葉	スミタエイダイ・パールイズミ・ラ・ビロ	
3位	EmmaChiltern	メルボルン大学	

マスターズ・クリテリウム

1位	小川 恵佑	17'22"
2位	小畑 郁	
3位	高岡 亮寛	

小中学生タイムトライアル

小1	大村 蓮二	3分27秒53
小2	大沼 夕夏	4分23秒57
小2	木原 幹太	3分40秒70
小4	志村 真生	3分10秒80
小4	大村 一樹	2分44秒17
小4	豊田 直古	2分48秒18
小5	毛利 瑞紀	5分25秒90
小5	堀野 隼一郎	2分12秒74
小6	内山 雷蔵	3分36秒90



マスターズ・タイムトライアル

山本 健一	1分31秒30
小川 恵佑	1分31秒70
小畑 郁	1分30秒50
伊藤 晋一	1分31秒38
山崎 諭	1分34秒20
森 晃彦	1分29秒79

第14回大会成績 / RESULTS OF THE 14th EVENT 2020年2月23日(日)

2019年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第14回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	日本体育大学
2位	明治大学
3位	明星大学
4位	日本大学
5位	朝日大学
6位	中央大学
7位	作新学院大学
8位	大阪産業大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	鈴木 浩太	明星大学
2位	風間 翔太	東北学院大学
3位	植益 和行	大阪産業大学
4位	床井 亮希	作新学院大学
5位	篠田 幸希	日本体育大学
6位	安彦 統賀	日本体育大学
7位	渡邊 慶太	明治大学
8位	村上 翔馬	大阪産業大学



グループ1 (大学対抗)

1位	篠田 幸希	日本体育大学	45'51"
2位	鈴木 浩太	明星大学	
3位	佐藤 健	日本大学	

グループ2A

1位	中村 圭佑	鹿屋体育大学	18'34"
2位	花田 聖誠	Team Eurasia - IRCTIRE	
3位	關根 論容	日本体育大学	

グループ2B

1位	大町 健斗	Team Eurasia - IRCTIRE	18'02"
2位	平安山 良希	日本体育大学	
3位	石原 悠希	順天堂大学	

グループ3A

1位	塩島 嵩一朗	明治大学	09'30"
2位	堀 良寛	明治大学	
3位	川尻 泰生	明星大学	

グループ3B

1位	松本 輝	作新学院大学	09'33"
2位	宮本 秋哉	駒澤大学	
3位	上野 矢竜	明治大学	

グループ3C

1位	新垣 慶晃	鹿屋体育大学	09'32"
2位	尾形 昂隼	朝日大学	
3位	森崎 健臣	作新学院大学	

女子

1位	中村 愛花	日本体育大学	20'55"
2位	成海 綾香	鹿屋体育大学	
3位	太郎田 水桜	法政大学	

マスターズ・クリテリウム

1位	半澤 雄高	18'26"
2位	菊川 実紀	
3位	松尾 修作	

小中学生タイムトライアル

小2	大村 蓮二	3分02秒
小5	大村 一樹	2分37秒
小6	堀野 隼一郎	2分09秒
小6	水戸 春奈	3分35秒
小6	毛利 瑞紀	4分27秒
中1	内山 雷蔵	4分04秒
中1	水戸 雅広	5分30秒

マスターズ・タイムトライアル

菊川 実紀	1分40秒
山本 健一	1分39秒
伊藤 晋一	1分40秒
山崎 諭	1分42秒
森 晃彦	1分36秒



寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会の開催経緯

- **1990年** (平成2年)
寛仁親王殿下名誉総裁のもと前橋・宇都宮で世界選手権自転車競技日本大会 (トラック・ロード) 開催
- **1992年～** (平成4年～)
「寛仁親王杯世界選手権記念トーナメント」開催、KEIRINの国際化・オリンピック種目採用に尽力される
- **2000年** (平成12年)
シドニー五輪でケイリンが正式種目、殿下主導の2012年を目指すオリンピック攻略プロジェクト始動
- **2009年** (平成21年)
世界選手権開催20周年を記念した「寛仁親王杯ワールドグランプリ」が企画される (未実施)
- **2012年** (平成24年) 6月6日
寛仁親王殿下ご逝去
- **2014年** (平成26年) 7月4～7日 於：伊豆ベロドローム
第1回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第55回全日本学生選手権自転車競技大会トラックと併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス3大会として登録。
日本国内初のUCIパラサイクリング・カレンダー登録大会 (パラサイクリング・クラス2) となる。
主催：NPO法人CSSシクロ 競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2016年** (平成28年) 2月6～7日 於：伊豆ベロドローム
第2回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
全日本学生トラックレースシリーズ最終戦と併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス2大会として登録。
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
- **2016年** (平成28年) 7月8～10日 於：伊豆ベロドローム
第3回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2017年** (平成29年) 7月7～9日 於：伊豆ベロドローム
第4回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2018年** (平成30年) 7月6～8日 於：伊豆ベロドローム
第5回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2019年** (令和元年) 7月13～14日 於：松本美鈴湖自転車競技場
第6回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第3回全日本学生選手権オムニアム大会と併催/UCIクラス2トラック国際大会
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2020年** (令和2年) 2月23日 於：明治神宮外苑
第7回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第14回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟 後援：公益財団法人日本自転車競技連盟



加盟校・大会参加選手募集

あなたも母校のユニフォームを着てサイクル・レースを走りませんか？

詳しくは https://jicf.info/about_jicf/kamei_touki/ をご覧ください。

また、「全日本学生ロードレースシリーズ」では加盟前の学生でも参加可能なオープン参加部門を設けている大会も多数あります。同シリーズでは地元の協力により賞品多数。この機会にチャレンジを

2021年度 日本学生自転車競技連盟「賛助会員」募集中

日本学生自転車競技連盟憲章並びに事業の主旨にご賛同頂ける「賛助会員」を募集しております。入会資格、賛助会費額、入会方法等の詳細につきましては、本連盟ホームページのサイト <https://jicf.info/6292/> からご確認ください。

尚、会員特典として以下の特典があります。

- (1) 本連盟主催大会会場にお越しの際に、大会プログラムをご用意いたします。
- (2) 本連盟主催大会プログラムへの会員名称の記載をいたします。
- (3) 本連盟が主催する講習会・シンポジウム・セミナー等への優先参加ができます。
- (4) その他諸種の情報サービスの提供を行います。

皆様のご入会をいつでも歓迎いたしますので、本連盟のホームページを一度ご覧ください。

慶應義塾体育会自転車競技部

来たれ！ 新入部員！

連絡先

部長 レイサイド・ジェームス（法学部教授）

監督 宇佐美 祥（平成7年卒）

主将 石井 悠太郎（文学部3年）

主務 瀬瀬 壮太郎（商学部3年）

Twitter : <https://twitter.com/keiobrt>

Web: <https://keiobrt.com/>

Mail : akg11hg6k4@gmail.com



作新学院大学自転車部

監督 廣瀬 正高

コーチ 廣瀬 佳正

主将 大山 慶

主務 手塚 智大

WEB サイト <http://sakudai-u-cycling.club/>

Facebook <https://www.facebook.com/sakudaicycleclub/>

連絡先 cycleclub@sakushin-u.ac.jp

東北学院大学自転車競技部

応援よろしくお願いします!!

部長 楊 世英

主将 高橋 翼

主務 眞中 俊哉

寮長 高橋 一斗

連絡先 E-mail : rinsinkan.cycle@gmail.com



第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム 個人広告

荒 井 純 一
井 上 由 大
松 倉 信 裕

個人名の掲載順はアイウエオ順
(1口2000円 1口以上)



JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

日本学生自転車競技連盟 JICF

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
ジャパンスポーツオリムピックスクエア408

TEL 090-2207-2369 FAX 03-6804-2329

E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>



Favero Electronics (ファベロエレクトロニクス) 社は、30年以上にわたり、スポーツ電子機器のデザインから製造までを手掛けてきたイタリア企業です。同社は現在、110か国に対してスポーツ電子機器を販売していますが、俄然注目を集めているのが、サイクリング用に開発したペダル型パワーメーターの“ASSIOMA (アシオマ)”。ASSIOMAの装着に特別な工具は不要で、瞬間的なパワーの角度と速さを割り出すIAV (Instantaneous Angular Velocity) テクノロジーによって、IAVパワーフェイズ・IAVライダーポジション・左右パワーバランスなどを高い精度で測定します。ペダリング中は常にIAVを計測して数値化してくれるので、ペダリングが不安定になりがちな上り坂でのスプリント、また精円のチェーンリングを使用した際も正確な数値を計測するので、あらゆるシーンにおいて高い精度で計測を行う、パワーメーターとしての基本性能に優れていることが最大の特徴ですが、DUOの左右ペア重量がわずか303gであることも忘れてはいけません。では価格はどうでしょう。UNOで 51,000円、DUOで80,000円 (ともに税別)。この価格は市場に出回るパワーメーターのなかでも、突出してリーズナブルです。新機軸を取り込んだ機器は、得てして高額な製品となるものです。しかしこの世界にも、性能や価格面で従来品をブレイクスルー製品が登場するものです。彗星のごとく現れたFavero ASSIOMAがまさにそうで、精度、耐久性、サービス性、軽量性、そして価格面でこのカテゴリーをリードする製品となりました。その精度はインドアトレーニングでも発揮され、世界中のZWIFT 愛好者からも高い評価を得ています。



ASSIOMA

ASSIOMA DUO (両ペダルにパワーセンサー) 販売価格 **80,000円** (税別)

ASSIOMA UNO (左ペダルのみパワーセンサー) 販売価格 **51,000円** (税別)

特徴 無線プロトコル: ANT+ PWR (CT + PO) プロファイル、Bluetooth v4.0
 転送データ: パワー (watt)、ケイデンス (rpm)、L/R バランス % (Assioma DUO のみ)、
 トルク有効性 (TE)、ペダル円滑度 (PS)
 内部バッテリー: 充電式リチウムバッテリー (50 時間稼働)
 最大パワー: 2000W

付属品 専用赤色クリート2個 (フロート角6度)、8mm六角レンチ1本、ペダルワッシャー4個、
 充電アダプター、充電用コード、充電用コネクタ、取扱説明書、保証書

互換クリート FAVERO 赤色クリート、黒色クリート、LOOK Keoクリート (オリジナル/Grip対応)

GAME CHANGER!

NEW **5G** FORMULA PRO TUBELESS/TUBELESS READY

更なる進化を遂げた第5世代

グリップ力!



NEW FORMULA PRO TUBELESS RBCC

フォーミュラ プロ チューブレス アールビーシーシー

参考価格 ¥7,600

サイズ●700 × 25C/700 × 28C/700 × 30C

耐パンク!



NEW FORMULA PRO TUBELESS X-GUARD

フォーミュラ プロ チューブレス クロスガード

参考価格 ¥7,600

サイズ●700 × 25C/700 × 28C/700 × 30C

軽量!



NEW FORMULA PRO TUBELESS READY S-LIGHT

フォーミュラ プロ チューブレスレディ スーパーライト

参考価格 ¥7,600

サイズ●700 × 23C/700 × 25C/700 × 28C/700 × 30C

新フォーミュラ プロ シリーズ 3つの新テクノロジー

- 1 FORMULA PROシリーズ全製品に
新RBCCを搭載
- 2 コントロール性を高める
トレッド&パターンを採用
- 3 ディスクブレーキ、
ワイドリムへの対応



詳細はHPをチェック!
ircbike.jp